

平成31(令和元)年度

びわ湖ホール

劇場サポーター活動記録集



滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール

BIWAKO HALL CENTER FOR THE PERFORMING ARTS, SHIGA

## はじめに

2019年度はびわ湖ホールにとって、大きな出来事のたくさんあった1年でした。

数年がかりの総額70億円を超える大規模な改修工事が認められ、8～12月には、大・中ホールの舞台機構を中心に工事を行いました。部分的にせよ閉館して改修工事を行ったことは開館以来初めてのことでした。改修工事期間中、多くの方々のご協力やご理解に感謝しております。今年度は、1～3月に照明・音響の工事を行いますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

また、改修工事に入る直前には、オペラ公演『トゥーランドット』上演中のまさにその時に停電が起り、舞台機構がストップしてしまうという事態が発生しました。再開には1時間半近くを要しましたが、お帰りになるお客様はほとんどおらず、そればかりか再開時に大きな拍手をいただいたことは感動的でした。改めて、びわ湖ホールが劇場サポーターの皆さまをはじめ、多くの心温かいお客様たちに支えられていることを実感したところです。

そして、1番の大きな出来事は何といっても、『ニーベルングの指環』4部作の完結編『神々の黄昏』が新型コロナウィルス感染拡大の影響で中止を余儀なくされたことでした。しかしながら、災い転じて福となす。中止の決定からの対応は素晴らしいものでした。DVD制作を前提とした無観客上演、YouTubeでの無料ストリーミング配信に向けての動きは迅速でしたし、アーティストもスタッフも気持ちがひとつとなって、他に類を見ないほどクオリティの高い素晴らしい公演となりました。動画配信アクセス記録は驚異的で最大同時接続数は約12,000件、再生回数は延べ37万件を超えるなど、反響の大きさを物語っています。

動画配信後には、舞台芸術基金へのたくさんのご寄付が寄せられたことも感動的でした。これらのこととは、びわ湖ホールへの期待がいかに大きいかを示しています。今後、今まで以上にその期待に応えるべく励んでいきたいと思います。

劇場サポーターの皆さまも、サポーター制度の特典や交流会など、様々な機会をフル活用し、上質な舞台芸術の魅力を存分に楽しんでいただきたいと思います。そして、ご家族・ご友人など一人でも多くの方々へその魅力をお伝えいただき、引き続きびわ湖ホールをご支援いただけますと嬉しい限りです。

令和2年3月

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

館 長 山 中 隆



## 目 次

---

びわ湖ホール劇場サポーター活動報告 .....	1
2019年度「びわ湖ホール劇場サポーター」研修の概要 .....	36
2019年度「びわ湖ホール劇場サポーター」自主活動の概要 .....	38
2019年度「びわ湖ホール劇場サポーター」運営要綱 .....	40
2019年度「びわ湖ホール劇場サポーター」の内訳 .....	41

---

# びわ湖ホール劇場サポーター 活動報告

期別（順不同）

文責：びわ湖ホール劇場サポーター

## 2019年度 劇場サポーター活動報告

22期 荒井 晶子

一年間ありがとうございました。

とうとう3年目の活動も終わろうとしています。

が、本年度も、なかなか思うようにサポーターの活動や講座に参加ができずにいました。

「PR活動」といたしましては、昨年から引き続き毎月3～4部は友人に直接お渡し、6部ほどは職場のチラシラックに設置させていただきました。

音楽に興味のある方が多く来られる店のためか、皆さん毎月の案内や湖響を楽しみにしてくださっていることを感じた一年でした。（2年置き続けていた成果かな？）

サポーター活動としては、「Harmonia」の編集に参加。微力ながらお手伝いをさせていただきました。編集時会議などで音楽やびわ湖ホールの裏話（？）様々な音楽情報を聞けたりと、編集とは少し脱線する時間がサポーターとしての知識の幅を広げられる楽しい時間をもらうことができました。

（この原稿の提出が遅れたことがバレますが・・・）

今年も、ワーグナーの「神々の黄昏」のチケットを息子にプレゼント。しかしながら公演中止からのストリーミング配信。幸か不幸か、コロナの影響で部活動ができない息子が、暇を持て余している（かもしれない）吹奏楽部員たちにストリーミングを観るように発信。

なかなか、練習が忙しくて吹奏楽以外の音楽に触れる時間の少ない吹部部員にはとても良い時間になったのはと想像しています。彼らがもっと吹奏楽以外の音楽、オペラやオーケストラ、はたまた狂言・歌舞伎などいろいろな舞台芸術に興味を持ってもらえるきっかけになればと期待しつつ、若者の発信力を利用させてもらっています・・・

## 2019年度の1年を振り返って

22期 澤野栄一

いつもお世話になります。

さて、この1年を振り返ってみすと、4月27日、刷新された近江の春びわ湖クラシック音楽祭の「声」を観賞するところ始まりました。急遽出演が石橋さんに代わったようですが、実に素晴らしい歌唱、演奏会形式とはされていたものよく考えられあ演技そして演奏にこの作品の素晴らしさに触れることができました。そして、その余韻も醒めないまま、他の方々と協力し、ピアノリサイタルのボランティアに参加し、公演を聞きに来られた方々に感動を持って帰っていただくお手伝いに努めさせていただいたところです。

この後もボローニャ歌劇場の優れた公演がありましたが、平日の夜のせいか少し熱気が低かったのが残念です。今年は3年前に来日したパレルモ・マッシモ劇場が再来します。今回のジュニニ・スキッキでもありますが、あの時はサポーターの方がエキストラで出演されるなど、サポーターとして劇場を支える在り方の多様さを知ることができました。この時の公演は非常に盛り上がったことを記憶していますが、常にびわ湖ホールが熱気に包まれるよう、サポーターとしての取り組みをしていかなければならないところですが、実情そうはいかず、御苦労をおかけしている皆様方には申し訳ない限りです。

次の一年もたいしたことはできませんが、自分でできる範囲のことを頑張ってやっていこうと思いますので、よろしくお願ひします。

最後、まったくの余談ですが、誘い合わせて観に行ったトゥーランドットの公演において、上演中電気系統の故障で演奏で照明が落ち、演奏が一時中断される事件がありましたが、初めての経験であり、こんなこともあるのかと新たな劇場体験に驚いたところです。

## 劇場サポーター活動報告

令和2年2月28日  
第22期 住田 昌子

# オペラ鑑賞への勧め

### 1. 活動報告

- ・友達各人が興味ありそうなジャンルのチラシを配布する。
- ・ワーグナーゼミナー、トライアングル講座に参加して得られた知識や見どころなどを伝える。
- ・オペラに行きたいけれど、ワグナーは難しいと考える人には、ゼミナーがあることを伝える。
- ・オペラに行きたいが高いので、という方にはシネマコンサートを勧める。

### 2. 成 果

- ・今回オペラのチケットと一緒に購入する事で一緒に行くことになる。  
(びわ湖ホールでオペラに行きたいと思いながらも交通が不便、またJR駅から遠いなどで今まで行く機会がなかった。)
- ・シネマコンサートに参加してコンサートの会員になり、オペラに関心を持たれた。

### 3. 感 想

- ・ワーグナーのゼミナーは回を重ねるごとに受講者が増えていくので人気のほどが感じられた。
- ・ワーグナー等々知識の乏しい私には講座で鑑賞の楽しみ方を知る機会となった。

### 4. 反 省

オペラのゼミナー、シネマコンサートがある事を知らない方が多いのもっと広めたい。

### 5. 今後の抱負

ロビーコンサートなど滋賀の若い音楽家を育てる演奏会は、楽しませていただきました。今後びわ湖ホールを盛り上げてくれるでしょう。私達も応援したいです。

以 上

## サポーター三年目、それは一枚のチラシから

22期 中村 さつき

三年前の私は、劇場サポーターに応募するかどうか迷っていました。  
その時、勧めてくださった方々、ありがとうございました。感謝しています。

当時の私は、募集チラシに書かれてある書類選考・面談等々に気後れし、応募を躊躇していました。でもそれは会の活動内容を知ったうえで入会していただくというホール側のご配慮であることを、後日知りました。

現在の私は、募集チラシの内容通り中身の濃い活動のおかげで、三年前の私が知らなかつた種類の楽しみの世界に迷い込んでいます。ワクワク感やドキドキ感へと手引いてくださる方々、ありがとうございます。感謝、感謝です。

今年も友人知人たちにこの劇場サポーター募集チラシを手渡し、お誘いし、仲間入りしていただけました。きっと楽しんでいただけることでしょう。

最後に、三年間ありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願ひ致します。

## 劇場サポーターとしての活動報告 22期 西山洋介

### どのような活動をしたか

サポーターとなり丸3年が過ぎました。この間、何も知らなかつたオペラの「にわかファン」となり、定例会や講座でサポーターの先輩、先生から色々と学びながらオペラと一緒に歌舞伎、バレエなど週1~2回は、びわ湖ホールに通つていまいりました。

### 活動の成果

オペラをはじめとした古典のすばらしさ、びわ湖ホールのすばらしさを会社の友人に喧伝すると併に、知人の医院にパンフレットを置いてもらうなど微力ですが一人でも多くびわ湖ホールを知つてもらうように活動して参りました。

### 感想

ニーベルングの指環が完売になるなどびわ湖ホールが関西の拠点となつてきておりうれしい限りです。関東からびわ湖ホールに来られる方も多いと聞き経済効果も期待しています。事前の講座の開催やメインロビーでのコンサートなどの地道な活動が実を結びつつあると思います。昨年はトゥーランドットの上演中の停電などに遭遇しかけがえのない思い出とはなりましたが着実な投資の必要性を痛感しました。

### 反省点

サポーターの皆さんとの交流があまりできておらず臆することなくこちらからお声がけするができませんでした。

### 今後の抱負

一人でも多くの知人に足を運んでもらうようもっと積極的にびわ湖ホールのすばらしさを伝えてまいります。

# 劇場サポーター活動報告

(「石の上にも三年」新たに三年)

令和2年2月22日

第22期 野村 稔

## ○活動の内容

- ☆少しでも見聞を広めそして興味が高まるようにと本年度も劇場サポーター研修講座や公演関連講座、稽古見学会を積極的に受講しました。
- ☆チラシ等の配布物を他の活動団体メンバーに直接手渡しをし、ご近所の方への配布や事業所にチラシを置いていただくなどしてびわ湖ホールで開催される公演情報をPRしました。
- ☆劇場サポーター交流会の定例会グループとサポーターズ・サロングループのメンバーとして会議や打合せに可能な限り出席し、定例会やサポーターズ・サロンの活動にも積極的に参加し少しでも見聞を広めるように努めました。
- ☆舞台芸術への興味の範囲が狭く関心も薄い、さらには知識もないのでびわ湖ホールで開催される公演に興味や関心を幅広く持つようにしました。
- ☆友人知人やグループ・団体の仲間にびわ湖ホールの劇場サポーター制度や活動について説明をし、話題にもしました。

## ○成 果

舞台芸術の関心や興味の範囲が薄くて狭く知識もないままびわ湖ホール劇場サポーターになりましたが、グループのメンバーとして活動や参加をし、研修講座や公演関連講座等も受講するようになってからは、少しだけ見聞が広まり興味や関心も少し高まってびわ湖ホールで開催された公演を何作か鑑賞するようになりました。

グループや団体の仲間、友人知人に「劇場サポーターになって活動している」と、話題にすることができる説明もするようになりました。チラシの手渡しを喜んでもらえました。

また、サポーター交流会のグループメンバーとして活動し参加することによって新たな出会いと交流があり、楽しく有意義な活動ができるようになりました。

## ○感 想

びわ湖ホールと劇場サポーター（サポーター交流会も含め）が協働してお互いに課題と問題意識を共有しあいながら協議、活動する時間と場があればと思います。

劇場サポーターの知名度を向上させていく必要性とサポーターとしてボランティア活動を楽しく継続できるように体制や規程なり会則等があれば良いなと思いました。まだまだ劇場サポーターの顔や組織の全体像が見えにくいように感じています。

また、劇場サポーターには素晴らしい方々が加入されているので、一人でも多く活動や事業に継続して参画してもらえるようホールとサポーター双方の工夫と理解が少し必要なではと思いました。

## ○今後の抱負

3年たった今も「好きこそものの上手なれ」とはいかないけれど、これからも「下手の横好き」としてびわ湖ホール、サポーターや交流会の方々と更に「想い」を通わせ、協働できる人間関係を紡ぎながら、自分が感じたことを他の人々に理解してもらえるような言葉で伝えられるようになりたいと思います。

いまだに知識がなく関心や興味も低いままですが、「継続は力なり」、役に立たないかもしれませんのがこれからもサポーターとして楽しく活動を続け、さらに見聞を広げられたらと思います。

令和1年 活動報告

22期 檜原悦子

今年度は、広報物を毎月5部にしていただきました。

ハルモニアグループに所属しています。

編集会議には出席していますが、具体的にお役には立てていません。

基礎講座、オペラ講座などに出席しました。

びわ湖クラシック音楽祭のボランティアスタッフに申込んでいたのですが、入院することになりお断りしました。残念でした。

## レクリエーションそして歌舞伎応援団

22期 森 敬一

1 レクリエーション担当として、春は京都三条のレトロビルウォッキングを経て新緑の京都御所を見学しました。御所で食事のあと近くのホテルでお茶にしました。秋は坂本の紅葉ハイキング。石積みの美しい街並みを経て紅葉の名所日吉大社、そして明智光秀の菩提寺西教寺に行きました。お弁当のあとは喫茶店でお茶にしました。私の思いとしてはできるだけ足に負担の少ない街歩き里歩きで、たくさん的人に参加してほしいと思います。お昼も、お弁当よりも飲食店を利用すれば少々の雨でも中止しなくてもすみますので、これからの方針かなと思います。

京都国立博物館見学も企画実施しました。平常展は520円です。ミュージアムカードでレプリカを触って体験学習のあと、半日文化財を勉強し付属のレストランで食事とお茶。

仕上げのティータイムは楽しいですね。

2 松竹大歌舞伎に合わせて、連絡網で「歌舞伎入門」と題して歌舞伎のウンチクを読んでいただきました。理解の一助になったなら幸甚です。サポーターの皆さんに歌舞伎のファンを一人でも増やしたいと思っています。当日は2階席の最前列で（大きな声を出しても迷惑がかりません）「高麗屋！」とかけました。南座や大阪松竹座では通が絶妙のタイミングで声をかけています。オペラの殿堂びわ湖ホールも歌舞伎役者からすれば「地方劇場」です。バカにされないように一生懸命にかけました。これもサポーター活動です。

東京の歌舞伎座には「大向こうの会」というのがあります。「大向こうをうならす」という言いまわしがありますね。大向こうというのは舞台からみて一番奥、つまり3階席の一番後ろです。一番安い席なのでリピーターが陣取ります。オペラ座の天井桟敷と同じです。大向こうの会の会員は「木戸御免」つまり入場料タダなんです。タダにするかわりに精々声をかけて歌舞伎を盛り上げてくれと、終戦直後の松竹大谷会長の発案です。元NHKアナウンサーの山川静夫さんもメンバーです。

びわ湖ホールでも「びわ湖ホールプラボー会」を組織して精々声をかけて、そのかわり無料にしてはいかが。プレス発表すれば全国的な話題となりましょう。

## サポーター3年生

22期 吉原圭子

サポーター3年目を迎えた。今年こそは色々な行事に出席しようと決心した年度初めでした。が、他の用事と重なったり、体調不良（特に夏から晩秋）が長引き、オペラ及び同関係諸講座を優先にした結果、定例会やパーティー、ハイキング等、欠席せざるを得ませんでした。運営委員の方々には、申し訳ないと思っております。しかし、ひるがえってみると、サポーターになった目的は、"オペラができるだけ多く観ること、そのための知識を得、理解すること、そして知人や友人に知らしめること"だったのです。体力の許す範囲でその線は最低限貫こうと努力したつもりです。

【オペラ】：近江の春びわ湖クラシック音楽祭で、「声」という、全曲を一人で演じ切るオペラを観たのは、初めての経験でした。予定されていた砂川涼子さんが体調不良で降板、代役の方が素晴らしい声で演じ切りました。想像以上の好演で満足この上ないものでした。

「トウランドット」、「こうもり」は家族、友人を誘って行き、オペラはもちろんですが、幕間のワインとお喋りをも楽しみ、思い出深いオペラ行となりました。

【オペラ講座】：4-6月にかけての青山先生のトライアングル講座、12月の東条先生のワーグナーの講座は従来通り、取させていただき、基礎的な知識を固めていきました。さらに、今回は最後の機会なので、2月の上級編にも出席しました。ワーグナーの人生や思想により深くメスを入れ、社会や交友関係がどう作品に影響を与えたか等、懇切丁寧に説明してくださった藤野先生の講義には感服しました。上級編は難解というイメージに振り回され、バスしてしまった昨年度、一昨年度がくやまれます。

【基礎講座 特別講座】：舞台芸術に直接 間接に関わる専門家の方々の講座は、見物する側の人間には気付きにくい側面を教えてくれ、裏方さんの人数の多さに驚かされ、改めて、チケットの高額さに納得させられました。押谷氏の講義では舞台を照らすライトの重要性の話が印象に残っています。照明係の方が、時には命を張るほどの高所で仕事されることもあるとのこと…また、上演日には早朝にホール入りし、準備し、終演後には片付けをするという長時間労働であることものはなされました。

他の講師の方々からもびわ湖ホール設立からの20年間のエピソードや、外部から見た独自性、今後の進むべき方向性など、初めて耳にする事柄も多く興味深かったです。

【オペラ「こうもり」稽古総見】：公演開始日の数日前、見学会があり、喜び勇んで行きました。第一幕のみでしたが、静謐な雰囲気の中で聞く歌劇は、公演の客席で見聞きするものとは違った独特の張りつめた感覚をあじわいました。

【後悔】：“白石光隆さんの「サロンコンサート」に、サポーター全員を無料招待”というメールに気づいたのは公演翌日。「神々の黄昏」のプレトークマチネで出会った友人からでした。とても興味のあったものの一つで、残念。日頃のメールチェックがおろそかになりがちな自分を悔いました。

## びわ湖ホール劇場サポーター第24期活動報告

第23期サポーター 相田 一雄

### 1. 第24期における活動内容

- (1) 私は地元滋賀と大阪で合唱活動を行っているので、所属する合唱団、さらに友好交流している合唱団の皆さんに、毎月送っていただいているびわ湖ホール公演パンフレット・チラシを配布してホール自主公演の紹介とホールへの誘いを前期同様行いました。親しい合唱仲間には、既に鑑賞したステージの私の感想文に併せてこれからのステージで私が勧めたいもののチラシに私の推薦文・お勧めのポイントなどを記したメモを添えて郵送したりメール発信してきました。

また私の所属する合唱団では、練習場のテーブルにパンフレット・チラシを置いて自由に持ち帰ってもらうと共に、私から練習の合間の連絡タイムに、合唱団員にお勧めの公演について誘いのコメントを話してチラシを見るように勧めています。

(地元滋賀の団員は約60名、大阪の団員は約30名)

毎月発行の「Stage」は評判が良く沢山の人が持ち帰ってくれています。

- (2) びわ湖ホールならではの自主公演といえば「オペラ」。

私は23期に劇場サポーターになり、オペラ関係のサポーター勉強会に沢山参加させていただいて、実際にオペラをホールで鑑賞し、その魅力にとりつかれました。

それまで勤務をしているときは、休日や夜中にテレビ録画やDVDでオペラを観ておりましたが、ホールで生の舞台を観て、あのホールに響く声に包まれたときの感激・感動はやみつきになります。

そんな私の『オペラ舞台体験』を練習場での休憩時や練習場へ通う道筋で一緒の人と話していると、次第に類は類を呼ぶというか、興味のある人が集まり、今度舞台を観に行ってみようということになり、次は、あそこはどうだったとかあの歌手は良かったなどと話が弾んでいると興味を示す人が増えていき、“近江の春”での福井敬さん、石橋栄裏さんのステージ、8月の二塚さんの独演会、「トゥーランドット」、お正月の「IL DE VO &四大テノール」そして「こうもり」では数組のご夫婦での鑑賞があり、舞台休憩時にはロビーでお互いの奥様を紹介し合い挨拶談話と楽しいひとときを過ごすことが増えました。

また、正月の「こうもり」では、昨年秋に私の関係する女声合唱団が「こうもり」の中の数曲をメドレーで歌う演奏会を京都コンサートホールで開催、そのとき私はびわ湖ホールの事務所から「びわ湖ホール『こうもり』」のチラシを300枚程いただいて京都コンサートホールに持ち込んで演奏会場のロビーに置かせていただきました。チラシは全部なくなり、私がホールに出向いた第1日目と第4日目だけでも京都から鑑賞に来てくださった数名の方と出会いました。これからもオペラファンの人と人の和を広げると共に、チラシの効果のある配布の仕方なども工夫してびわ湖ホールでオペラを楽しんでいただける人を増やしたいと思います。

## 私とびわ湖ホール 23 期 青木加恵子

ホールとの付き合いも 2 年近くになりました。

1 年目はは??と思うことが多々ありましたが、  
今はおおよその内容がわかつてきましたので、  
他用と折り合いをつけながら(日曜に重なることが多く)  
顔見知りも増え、楽しく参加させてもらっています。

配布物も昨年と同じく 40 部を送ってもらっていますが、  
配るのももちろん枚数の多い時は一まとめにするのが結構大変です。  
中には、毎月楽しみに待っていてくれる人もいて、会話に花が咲きます。

昨年 1 月に見た四大テノールがとても面白かったので、

何人かにそのお話をしたところ、  
今年の四大テノールに 7 人も参加してくれました。

「とてもよかったです、パンフレットを見ただけではわからないので、  
またこういうのをお勧めして欲しい」ってたのまれました。  
でも、こちらとしたら、人によっては楽しみ方や好みも違うし、  
私もまだ観ていないので、  
お勧めしたもの楽しんでもらえるかなって心配です。  
なのでなかなかお勧めすることも難しいです。

2 月 2 日のベートーヴェンの皇帝、  
石井楓子さんのピアノに圧倒され、  
すぐに家に帰って CD を聴きましたが、  
全くその時の感激は味わうことができませんでした。  
やっぱりライブでは臨場感、高揚感が凄いって実感しました。  
そんな体験をしましたので、みんなに勧めていけたらいいな！

## びわ湖ホール劇場サポーター 活動報告

第23期 梅本顕宏

今年度は2年目の劇場サポーターとしての活動でした。

1年目よりも参加機会が少なかったのが正直なところですが、引き続きサポーター会員としてできることはしていきたいと考えています。

今年度の活動状況は以下のとおりです。

### 2019年度

7月21日 わいコン

10月27日 第2回目基礎講座

11月23日 サポーターズサロン

1月6日 「こうもり」稽古見学会

1月13日 「こうもり」

1月19日 オペラ講座

2月1日 まるっとステージツアー

2月8日 ワーグナー・ゼミナール

しかしながら、神々の黄昏の公演中止は本当に残念でした。

それゆえに自分に何ができるか、そしてそのタイミング。そういった今を大事にすることを改めて考えさせられました。

簡単ではありますが、以上ご報告します。

## 友の会にはいっていてよかった（活動報告 2 年目）23 期 老邑智子

今年度一番ショックだったのは、なんといっても神々の黄昏のチケット取れなかつたことです。予定表に発売日もちゃんと書いておいたのに・・・。発売日は、東京から深夜に帰宅したので、コロッと忘れていました。気が付いたのは、一般の人が購入できるようになった日で、どの日もどの席も売り切れ。ワーグナー・ゼミナール初級も上級も定例会（神々の黄昏のレクチャー）も予定表に書き込み楽しみにしていたのに、意欲がなくなりました。そこへ、びわ湖ホールから、MET の映画のお知らせ。それで元気がでたところに、友の会から、ゲネプロ招待のお知らせ。よかったです～、友の会に入っていて。

娘が里帰り出産したので、前半の 2 か月半の活動は、チラシ配布だけでした。そろそろ、何か聴きに行こうかと思ったとき、新聞で目に留まったのが、京都のコンサート。そこで、チラシをいただくので、続けて京都へ。

そんな時、定例会があり、久しぶりにびわ湖ホールへ。すると皆さんとお話しするし、チラシを見るので、昨年のように、びわ湖ホールへ行く回数が増えました。

お友達と誘い合って、ロビーコンサートも数回楽しませていただきました。一人ではなかつたり、食事がくつつくことで、ロビコンを楽しめたのだと思います。

一月末には、「この指とまれ」で初心者向きにオペラの講座を開いていただき、出席できたのも嬉しく思いました。サポーター仲間が「こんなはどうかしら。」とこの企画を立ち上げて下さり、「良いと思う参加させていただく。」と話していたら、実現。オペラを愛するしっかりした方々が周りにいることを実感しました。

先日は、ハルモニアの方が原稿をと声をかけて下さり、投稿させていただきました。サポーターの活動が楽しくて、ペラペラおしゃべりしていたら、今年も 1 人入会してくださいました。サポーター活動を楽しみ支えて下さる方が増えて嬉しいと思いました。

明日は友人と、書道パフォーマンスを観てからロビコンです。

来月の長靴をはいた猫は、主人と。

活動があまりできない時期があつたり、うつかりして、チケットを購入できなかつたりしましたが、友の会、定例会、サポーター仲間のおかげで、また、楽しく活動を続けさせていただいています。

この一年を振り返って

23期 大石文代

サポーターに参加させていただいて、早、2年が経ちました。この1年も送っていただいた広報物を知人に届けたり、遠方の知人には送付等をして喜んで戴きました。一緒に鑑賞した友人達と感想や意見交換し、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

【近江の春】のボランティアに参加しました。お客様が会場に入っいかれる時より終演後に会場から満足気にして出でられる姿に接し、心から「ありがとうございました」と言え、ボランティアに参加させていただいた喜びとやりがいを感じました。

サポーターのいろいろなイベントや交流会にほとんど参加出来ませんでしたが、「ハルモニア」や「らくらく連絡網」から発信される情報はとても勉強になり趣味の知識が深まり、サポーターの方々の博識に敬服するばかりです。

今年も、びわ湖ホールでの音楽、舞台芸術鑑賞で心豊かになれる喜びを一人でも多くの方々に味わっていただけるよう声かけをし、びわ湖ホールの魅力を伝えたいと思います。

## 2019年度 びわこホール劇場サポーター活動報告

第23期 末 淳子

劇場サポーター2年目の活動は初年度より自分の鑑賞、演奏に傾斜した一年となりました。

4月27日 近江の春音楽祭は大中小ホールをはしごして計5公演聴きまくりでボランティア等はせずでした。

5月19日 バレエ講座受講、講師の方の強烈な推薦で7月13日のエイフマン・バレエ「アンナ・カレーニナ」を鑑賞。NHKプレミアムシアターの「ロダン」も録画鑑賞しました。

6月23日定例会レクチャー「トゥーランドット」担当。DVDを使った鑑賞手引きおよびちょっとだけイタリア語とNessun dormaに挑戦。その後サマーパーティー出席。

「トゥーランドット」公演は27日、停電の日でした。タイトルロールが最後自殺という演出にインスピライアされ、私案演出をハルモニアに投稿しました。

7月21日 わいわいコンサート出演。委員も兼務でしたのでかなり厳しかったのですが、Schubert:Die Forelle と Brahms:Wie rafft ich mich auf in der Nacht はピアニストの素晴らしい助演もあり自分としては納得の演奏となりました。この勢いで10月22日にメインロビーでパフォーマンスにもふたりで出演、Brahms: Meine Liebe ist grün と Auf dem See を演奏いたしました。

10月27日定例会レクチャー「生誕200年 クララ・シューマンの生涯と音楽」自身は後半の音楽担当で映画DVD「愛の調べ」を使いながらクララとシューマン、 Brahmsの作品をCDで紹介。

1月6日、中ホール「こうもり」リハーサル見学。公演は1月13日に鑑賞。

毎月送付される広報物(Stage)は、今年度も地元の公民館に置いてもらっているのですが、取り換える時にチェックするとやはりあまり関心をいただいていないようです。

タイミングが合えば自身の知人や参加団体の人にも幅広い広報をすべく、銳意努力中です。

## 令和元年の活動

23期 長田由美子

講座は一回、バレエ編に伺いました。エイフマンバレエを初めて知りました。チャイコフスキー好きなので、「アンナカレーニナ」観たかったです。知人に自信もってお薦めしました。

初めて「びわ湖クラシック音楽祭」ボランティアに参加しました。初日の方で風が強く、琵琶湖は冬の雰囲気でした。寒さに負けない湖畔の高校生の熱演を聴き、観客と一体となつたような温かいロビーコンサートを眺めて仕事させて頂きました。幸せな一日でした。ゴールドベルグ変奏曲を味わい、敬虔な思いとグレン・グールドを知った青春時代を懐かしんでいました。（ボランティアは大過なく済んだと思います。）

一応サロングループと思ってますが、土日の昼出にくく、ご無沙汰ばかりです。

夏の食事会、クリスマス会はお邪魔して、皆様と交流させて頂きました。

次年度も、細くてもいいから長く続けたいと思います。

びわ湖ホール劇場サポーター 第23期 西見昭二

今年の報告をします。

2年目でありましたが、今年も定例会などの連絡を頂きながら一度も参加をしませんでした。一方で、びわ湖ホールの劇場サポーターの登録をしていたおかげで個人的にはいろんな活動が出来ました。

1. 自分自身がびわ湖ホールに足を運んだ。

→チラシなどが送られてくるので、自分自身で行事予定をまずは確認するので、自分で行きたい項目をチェック出来た。  
センターとして登録していなかったら多分ホールに足を運ぶ回数は少なかつたと思います。

2. サポーター任命の最初の会合で「合唱をやっている」というメンバーの方の話を聞いて、自分でも合唱をやってみようと思い、昨年参加した団体の活動を今でも継続し、楽しんでいる。

3. チラシを勤務先や知人に定期的に届けた。

→手交した方がどれだけびわ湖ホールに足を運んでくれたかは定かではないが、地道な活動は必要と思い継続していた。

今年は定年を迎えて仕事の面ではひと段落しますので、定例会などのサポーターの行事のほかにも、4月のびわ湖クラシック音楽祭のボランティアにも参加しようかとも考えています。

## びわ湖ホール劇場サポーター2年目を振り返って

23期 服部 由美子

定例会メンバーとしては全6回の定例会中5回出席することが出来ました。

オペラやクラシックについて知識が増えることは本当に楽しく、有難いことに鑑賞の仕方や魅力が少しづつ解ってきたような気がします。

又ホール主催の講座にも殆ど参加させていただきました。

次はどんなお話を聞かせて頂けるだろうかといつもワクワクしています。

今年度はレクリエーションに参加できなかったのが、心残りでした。

魅力的な企画が多いのに日にちが合わず後日同じ場所を訪ねてみたりしました。

公演はオペラ『トゥーランドット』、クラシックコンサート、エイフマンバレエ、松竹歌舞伎、シネマコンサート、ロビーコンサート等々鑑賞できました。感動をどう人に伝えれるかは課題が残ります。

日々のスケジュールは公演日や研修日が優先。友の会チケット発売日を忘れないことも大事なことになりました。

来年度は知人がサポーターに加入してくださいます。

「楽しくサポーター活動をする」という目標は達しているのかな?と思っています。

## サポーター活動報告

第23期：真柴 佳彦

劇場サポーターとしての2年目は、1年目の終わりに仕事を始めたばかりということもあって、講座や会合への欠席で、しばしば関係の方々へご迷惑をおかけすることになってしましました。

このような中でしたが、サポーター2年目を振り返ってみることにします。

### 1. 広報・PR活動

昨年度に引き続き、知り合いの病院に置いていただきました。また、定期・単発を問わず集まりや講座等にいくときには、いつもバッグの中に『stage』などをしのばせておき、情報発信・PRを継続しました。中には思わぬところで、<びわ湖ホールの常連さん>もおられ、びっくり・意気投合の一幕もありました。

### 2. 講座・セミナーの受講

ホールで企画される専門家による基礎講座・特別講座は、内容が充実しており、今年も楽しみにしておりました。

ホールのこれまでの活動や歴史、加えてその時々の出来事・事件?などのお話は、サポーター歴の浅い私には、新鮮・興味津々で、ホールのことをさらに深く知ることができ、さらに身近な存在と感じることになりました。なお、大フィルの山口氏による、オケの舞台裏の話が仕事の都合で聞けなかったのが残念でした。

また、オペラ公演についてのプレトークや各種講座は、今年もたいへん充実したプログラムで、できる限り参加しました。このような本公演への楽しみがクレッシェンドされていくような“仕掛け”についても、PRしていきたいと思います。

### 3. サポーター交流

ハルモニアのグループに入れていただいておりますが、仕事の都合で編集会議にたびたびでられないこと也有って、ほかのメンバーにご迷惑をおかけしたように思います。ただ、原稿の依頼において、本年度もサポーターの皆さんに多くのご協力を得ることができありがたかったです。

定例会はじめ交流会では、演目についてわかりやすい解説をしていただいたり、また好事家の嗜好の一端をご披露いただいたりで、感心すると共に大いに刺激を受けることができました。

ハイキングには今年も、日程がおりあわざ参加できなかつたことがたいへん残念でした。

この1年振りかえってみて、びわ湖ホールやオペラをはじめとした舞台芸術について、私の知識や関心は確実に上積みされたことと思っております。そして、これらをベースに、これからも引き続き、びわ湖ホールファンの拡大に少しでも貢献できればと思っております。

## ランチでチラシ

びわ湖ホールサポーター活動報告

23期 松田 左江子

昨年は私にとって怒涛というほどにふさわしい一年で  
心身ともにあわただしくて  
観劇することもなくなって  
そうすると情報もネタもないから  
みんなの話題にはいっていけない  
バレエ以外には無知で、でも勉強する時間も思いも足りない  
そんな悪の連鎖で  
サポーターの集まりからも遠ざかり  
つまりは、まったく影の薄い存在でした。  
また、どんどん送られてくる劇場からの宣伝チラシにも  
追いかけられているようなプレッシャーで…  
チラシを置いてもらえるような場所にでかけることもなくなったし  
さあ、ほんとに今度こそどうしようかと思っていたとき  
旧くからの主婦友達と会うことに。  
何気なく話をしているうちにドラマやタレントの話になって  
あ、それならば、こんなのびわ湖ホールでも今度やるよ、と  
持ってきていた Stage のチラシを開いて見せました。  
そうしたら、けっこう興味を持ってくれて、話題も弾んで楽しいひと時になりました。  
そうそう、私は時々このチラシを三つ折りにして  
カバンにしのばせてでかけることがあるのです。  
今まででは、チラシの配布先も議論もハルモニアの原稿も  
難しいものだと固く考えていましたが  
無理をしなくてもいいかな、と思えるようになりました。  
ランチのおともにチラシを、そこから広がる情報だってあるはずだから  
そう思ったら、勧められたハルモニアの原稿も、身近なことを楽な気持ちで書きました。  
今できることをコツコツと、もうしばらくこんな感じになりそうですが  
活動させていただこうかと思っています。

# びわ湖ホール劇場サポーター活動報告

23期 安本昌憲

## 1. 1年間の活動報告

### ① 舞台芸術愛好の輪を広げる活動

レクリエーションのクリスマス会等に参加して、ホールの方々やサポーターの方々と話す機会があり、よかったです。  
定例会等に参加しました。

### ② びわ湖ホールの魅力を広める活動

自宅マンションのロビーの広報掲載ボックスに配布をしているのですが、ほとんどなくなることがあり、関心をもっている人に少し貢献している気分になっています。

また、機会があれば、びわ湖ホールがとてもいい施設であることを話しています。

### ③ びわ湖ホールや舞台芸術について学ぶ活動

時間の都合のつく時は、オペラ公演関連等の講座を受講しました。  
参加者が熱心にメモを取っている姿に、いつも感心しています。

### ④ ボランティア活動に参加する活動

今年は、都合が悪くイベントに参加できませんでした。

来年度開催の「近江の春 びわ湖クラシック音楽祭2020」には、  
できるだけ参加したいと思います。

## 2. 感想

2年目になると1年間の流れがわかるので、リラックスして参加することができました。公演関連の講座では、まだ初めて知るようなことがあります、聞いたことがある言葉もでてくるようになりました。今教えてもらっていることが点となって、いつか繋がり線になればと思っています。

## 3. 今後について

石の上にも三年、何かを掴められるように、来期も続けようと思います。

オペラの深さを知る  
～2019年度「びわ湖ホール劇場サポーター」活動報告～

第23期 山本克也

●活動内容

- ・昨年度同様、私が自治会長をしています自治会内全10世帯に、びわ湖ホールの冊子・Stageを毎月1回配布しました。
- ・フェイスブックのびわ湖ホールからの情報をほぼ全てシェア(共有)し、私の友達(500人以上)と友達の友達に広めるように努めました。
- ・4月28日(日)に「近江の春 びわ湖クラシック音楽祭」の受付ボランティアをしました。
- ・6月23日(日)の第2回定例会で、念願のトゥーランドットの「Nessun Dorma(誰も寝てはならぬ)」をサポーターの皆さんと歌いました。
- ・11月30日(土)の第22期の森さんのご企画の「紅葉狩りハイキング」に参加させていただきました。今年から放送が始まりましたNHK大河ドラマ「麒麟がくる」の主役・明智光秀のゆかりの地、我が地元の坂本の西教寺をはじめ滋賀県一3,00本の紅葉を誇る日吉大社、伝統的建造物群保存地区の石積みの町並みの坂本をサポーター仲間と歩き、紅葉と歴史、おしゃべりを楽しみました。
- ・昨年度に続き、12月21日(土)にKEIBUN第九、大晦日に「びわ湖ホールジルヴェスター・コンサート2019-2020」での合唱に参加させていただきました。
- ・講座受講:6月2日(日)「初心者向け・トライアングル講座vol.2 第3回古典芸能編」、12月22日(日)「オペラ講座『神々の黄昏』(初級編)第1回『神々の黄昏』第1幕、第2幕」、1月19日(日)「オペラ講座『神々の黄昏』(初級編)第2回『神々の黄昏』第3幕」、2月1日(土)「ワーグナー・ゼミナール(上級編)第1回「黄昏の響き」～総譜から読み解く『神々の黄昏』の世界」、2月23日(日)「ワーグナー・ゼミナール(上級編)第3回「作品の全体像とその思想的背景」
- ・鑑賞:7月「トゥーランドット」、8月「じやじや馬ならし」、1月「こうもり」、「私たちは何も知らない」。3月「神々の黄昏」は鑑賞予定でしたが、新型コロナウィルス対策のため開催中止となりました。

●活動の成果

自治会員さんで、KEIBUN第九とジルヴェスター・コンサートをご家族でお聴きになられるようになった方がいらっしゃいます。また、友人に第九の観賞をお説いたところ、びわ湖ホール・大ホールが素晴らしいと今後、各種コンサートに行ってみたいとおっしゃられていました。狂言観劇の愛好者のフェイスブックの友達の一人がびわ湖ホールに初めて来られ、感激されていました。

●感想

7月にびわ湖ホールで鑑賞させていただいた「トゥーランドット」は、途中、停電トラブルになりましたが、舞台上の壁面をうまく使い、また、出演者の衣装も厳かな感じで、幽玄な雰囲気を醸し出し、過去私が鑑賞したオペラの中でも、最上位レベルの素晴らしいものでした。また、ワーグナー・ゼミナール(上級編)の2回の講座を受講しましたが、第1回の「総譜から読み解く」では、音符一つ、楽器一つ、音色一つでオペラの印象がガラリと変わる、それゆえに、それぞれに作曲家や演出家、指揮者の思いが表現されていることを知ることができました。また、第3回「作品の全体像とその思想的背景」は、哲学やキリスト教、思想などの前提的な基礎知識がないと理解が困難だと思われるような講座でしたが、配布資料を熟読し、講座後、ネットなどで用語や思想家、それぞれの主義・思想などについて調べてみると、ワーグナー作品の思想的背景の深さが徐々に理解できるようになりました。興味深いです。今後、オペラを鑑賞する際は、できるだけ作品の歴史的、思想的背景などを勉強してから鑑賞して行きたいと思います。

●反省点

サポーターの定例会やサークル活動にほとんど参加できませんでした。私なりに、私自身が無理なく、サポーター活動に貢献できることを考え、実践したいと思います。

●今後の抱負

びわ湖ホールで開催されるKEIBUN第九やジルヴェスター・コンサートなどには、私自身の年末恒例行事として、今後も引き続き参加したいと思っています。今までそうですが、まだ観たことのないオペラの演目がびわ湖ホールでされるのであれば、できる限り鑑賞したいと思います。8月の「じやじや馬ならし」、1月の「私たちは何も知らない」も良かったです。シェークスピアはもちろんですが、各種演劇も、興味が合うものであれば、鑑賞したいと思います。また、サポーターとして、今後も、びわ湖ホールについて友人、知人にその良さを知っていただけるよう努めます。



## 「いろいろな視点から見るおもしろさ」

23期 山本富士子

### ○トライアングル講座に参加して教えてもらったこと

毎年、世界的なバレエ団の公演がびわ湖ホールで観られるのを楽しみにしています。ずっと前ですが「アメリカン・バレエ・シアター」のスター・ガラは夢のような時間でした。今年の「エイフマン・バレエ」はチャイコフスキーの曲で(チャイコフスキーは苦手です。)ストーリーもあまり知らないので興味が無かったのですが、この講座に参加して、エイフマンさんの振り付けやダンサーさんの動きのきれいさ、すごさを、映像を使い見せてもらい、生の舞台を観たくなりました。古典バレエと現代バレエの融合した見事なダンスにいっぺんにファンになってしまいました。公演当日、次々に繰り出される踊りのすごさに圧倒された時間でした。講座で教えてもらわなかつたら知らなかつたし、触れられなかつた世界だろうと思います。とてもよかったです。

コジョカルさんはもちろん、「海賊」や「ドン・キホーテ」やっぱり素晴らしかった。トライアングル講座でアリーナさんの踊りの素晴らしさを教えてもらったのですがその後も雑誌で紹介されるなど、今年の活躍は大変なものでびっくりしました。「アリーナ・コジョカル ドリーム・プロジェクト」、世界で活躍しているダンサーさんを目の前で観られるのはものすごく幸せです。

### ○ソポーター定例会・学習会の参加して

定例会などいろいろな体験や資料から分かりやすく話を聞かせてもらえるのはオペラの作品を見るだけではなく、新しい発見ができるので楽しい時間です。今まで、オペラだけでなく聴く音楽は自分の好きなものに限られていました。みなさんのお話を聞かせてもらうことで違う聴き方や見方ができることはおもしろいです。話を聞かせてもらい「ナブッコ」も見たくなりました。これからも参加していきたいです。

### ○オペラ講座・ワーグナー・ゼミナールから学ぶ

「リング」の中でも「神々の黄昏」は改めて聞くこともなく、自分の中では長くほっておかれた楽曲でした。今回のオペラ講座で重要な場面を見せてもらうことで「リング」の各モティーフが巧妙にちりばめられたとてもワクワクする楽劇であることが分かりました。どうして「リング」がおもしろいと思うのか考へたとき、登場人物や場面にそれぞれのモティーフがあり、音楽が話を語っていくところおもしろいのかなと思うのですが、今まで、ワーグナーはいっぱい作ったそれぞれのモティーフを組み合わせて簡単に仕上げていったものだと思っていたのです。(40年ほど前にテレビで見ていて、生でワーグナーのオペラを見たのはびわ湖ホールが初めてです。)今回、講座に参加して、聴いているだけでは分からず制作過程の大変さや聴きどころ、見どころをたくさん教えてもらいました。

新鮮だったのは、「黄昏の響き」での響きの見かたです。講座当日、たくさんの楽譜を配布され、何が始まるのか不安になっていたのですが、音の動きを視覚化してみるおもしろさを教えてもらいました。楽譜が読めなくても、使われている楽器の音の重なりや響きが見えたり、楽器や音色の違いで喜怒哀樂を表したりしていることなど様々な工夫がされていることが楽譜を見て分かるという新しい視点をもらいました。今まで、自分の感性だけで聴いてきたのですが、いろいろな視点から知識を広めることも楽しいと思いました。

### ○身近な劇場

「トーランドット」の最後の合唱の響き、さすがいいホールだと感じました。4階の奥までしっかりと音が届いてくる。「近江の春」やオーケストラ公演など音楽が身近なものになってきているように感じます。ソポーターとしてまだまだ、公演のお知らせを配れるところは少ないのですが、自信をもって話せるようソポーターの皆さんから教えてもらったり学んだりしていきたいと思います。いいものが身近で見られる素晴らしさをこれからもたくさん体験したり、ひろめたりしていきたいです。

# 一年を振り返って

23 某月 吉田 瑛

年間を通じてすべて参加する事が出来なかつたけれども、初めての体験が出来たり、新しい知識を得る事が出来て有意義な一年でした。

サークル活動で共に行動出来ればと思っていたが他の予定と重なり、なかなか参加する事が出来なくて少々淋しい気持です。

近江の春のボランティア活動は良い経験をさせてもらつたし、飛び入りながら、夏のパーティーも樂しい時を過させてもらひ、スタッフの方々との交流もサポートとして気持ち新たに活動を意識しました。

公演のDMも従来通り配布させて頂いて、PRの一助に成っていると思ひます。

## 2019年度 びわ湖ホールソポーター活動報告

23期 米山 美津子

今回2期目です

昨年いただいたチラシやチケット情報がさばけず、年何回か  
数人に渡した程度で、これではと思いながら・・・・終わりました。

2019年度はわいわいコンサートにピアノ連弾で参加しました。楽器や歌だけでなく、  
写真や絵画刺繡、彫刻と作品の展示がありとても楽しく過ごしました。

今年は チラシをおいてくれる所を探し、おいてもらうことから始めようと思っています。

## サポーター活動1年目を振り返って

第24期 青砥ノリ子

- 毎月、チラシをセットして、最低5部は友人・知人に必ず手渡ししてきましたが、音楽好きの友人らの中には、すでに情報を持っている人も多く、新しい方を見つけて情報をお届けする、というところまでは至っていないのが現状です。
- サポーター向けの各種講座に、数多く参加させていただき、多岐のテーマにわたって、興味深く学ばせていただきました。舞台芸術に関するテーマはもちろんのこと、びわ湖ホール20年の歩みに触れたことで、これまで観客としてしか知らなかった「びわ湖ホールの魅力」をまた違う面から知ることができました。
- また、サポーター交流会でも、諸先輩方から教えていただくことが多く、びわ湖ホールの運営スタッフの方々だけでなく、他のサポーターの方々にも感謝しております。私自身の学びにつながることばかりで、積極的に提案・発言するといった貢献がなかなかできず、心苦しく感じておりますが、こういった場で得られた経験も含めて、友人らに伝えることで、びわ湖ホールの催しに興味を持ってもらえるよう、努めています。
- 本年度は他のスケジュールとの都合でかなわなかった、クラシック音楽祭でのボランティア活動など、次年度は、活動の幅を少しずつ広げていきたいと思っております。

## 「びわ湖ホール劇場ソポーター」活動報告

2020年2月20日

第24期・石垣昌枝

毎月送付される、Stage、びわ湖ホール公演スケジュールなど興味深い資料を、ウォーキング仲間や実家に手渡しました。

劇場ソポーター・サポート会員のしくみ、特典など、参加した公演などを話し、とても会話がはずみました。友人たちはパンフレットを見て、以前びわ湖ホールに行ったことがあるとか、子育て中の娘がゆっくりと優雅な時間を過ごしたいと言ってたとか、感想を聞くことができました。

毎回チラシを配布せねばと気が重いこともありましたが、たくさんの美しい公演パンフレットを見るのは楽しいことでした。

反省点としては、サークル活動に参加出来なかつたことですが、体力や年齢のこともあり申し訳ありません。

サポート会員は、これからも続けようと考えております。

## 2019年度劇場センター活動報告

24期 石橋 茂斗子

早いもので劇場センターになってから1年が経とうとしています。

ちょうど1年前、応募した時に今の状況は全く想像がつきませんでした。定例会等行事には毎月出席し、鑑賞の回数も増やして、これまでハマるのが怖くて手を出していなかったオペラも鑑賞デビューしよう…などいろいろ楽しい思いを巡らせて満を持して応募し、晴れて24期センターになったのですが、4月に土日祝も業務がある部署に異動。土日祝休がなくなるとはまったく予想しておらず、今年度は思いが実現しませんでした。

結局、4月のびわ湖クラシック音楽祭は1日しか行けず、たくさん購入していたチケットを無駄にしてしまいました（空席を作つて申し訳ございません）。公演にはそれきり行くことができていません。定例会も同日にあったサマーパーティーとともに1度出席したきりです。

「Stage」は持ち歩いて友人に渡したり、人が集まる場で置かせていただいたり、また、なぜか今年度は仕事関係で滋賀の方と会う機会が多く、滋賀在住・在勤、またはご出身だと聞くと、センターの話をしていました。気がつくと自己紹介でいつも劇場センターであることを話している自分がいました。しかしながら、活動の中身が伴つておらず、「1度連れて行って」と言われても日程を確保できず、悲しい1年となりました。

たった1度参加した定例会とサマーパーティーですが、素敵な同期の方や先輩方にお会いすることができ、館長様や職員様ともお話がでて楽しいひとときでした。ハルモニアグループにも幽霊部員の状態ですが同期の方にお誘いいただきて加入し、また、温かいお言葉で継続を励ましてくださる先輩もいらっしゃって、当面思うようにセンター活動を行う環境にはありませんが、細くても長く大好きなびわ湖ホールに関わっていくことができればと思っています。

今後ともよろしくお願ひいたします。

## びわ湖ホール劇場サポーター1年生 初体験 “わくわく”

第24期 井谷 町子

「音楽が大好き」「びわ湖の景色も大好き」意気込みいっぱいに始めたサポーター活動のこの1年を振り返ってみました。

多くの人にびわ湖ホールの素晴らしさを伝えるには？まず私自身がその素晴らしさを存分に体験しなければなりません。様々なジャンルの音楽を味わってみよう、これまでの知識をさらに深めようと私の胸はワクワク感でいっぱいでした。

四月	近江の春 びわ湖クラシック音楽祭 2019 沼尻竜典オペラセレクション プーランク作曲 歌劇 『声』
七月	新国立劇場 2018/2019 シーズン ダンス 森山開次 「NINJA」 松竹大歌舞伎 松本幸四郎改め二代目松本白鸚 襲名披露 市川染五郎改め松本幸四郎 襲名披露 オペラ夏の祭典 2019-20 ブッチャニ作曲 『トゥーランドット』
九月	大人の楽しみ方 26 タブラトゥーラ
十一月	気軽にクラシック 21 岩谷祐之 情熱のヴァイオリン
十二月	びわ湖リング完結年 関連企画 白石光隆ピアノ&トークコンサート こんにちは、ワーグナー
一月	山海塾 『ARC 薄明・薄暮』

この1年で上記の公演を鑑賞しました。特に印象深かったのは、森山開次「NINJA」と山海塾「ARC 薄明・薄暮」でした。人間の内面に迫る独特的な舞踏の世界に引き込まれていき、その魅力をまだこのジャンルに触れたことのない方々にお伝えしたいと思いました。また、「トゥーランドット」の公演中に停電があり、およそ1時間の中斷後再演された時の空気感が忘れられません。突然のハプニングにもかかわらず、皆静かに再開の時を待ち、オーケストラのメンバーが舞台に姿を現すと割れんばかりの大拍手が鳴り響きました。さらに、その拍手は温かいものに変わり指揮者を迎えると、何事もなかったかのように第2部が始まりました。ホール全体が何とも言えないほっこりした雰囲気に包まれていて、感激しました。このようにクラシックから歌舞伎、現代舞踏まで多岐にわたる音楽に触れることができたのは、サポーター冥利につきます。

定例会には積極的に参加しました。“私の1枚”と題した講話では、シューマン夫妻の音楽と夫婦愛の深さを知り、特別講座 舞台芸術の知識では、「びわ湖ホールの魅力と価値」について考える良い機会となりました。

秋のレクレーション ハイキングにも行きました。湖西の紅葉の名所、山の辺の道を坂本から西教寺までゆっくりのんびり歩きながら、他のサポーターの方々との交流を深めました。このワクワク感を多くの人に伝えるにはどうしたらいいのかしら？びわ湖ホールへたくさん的人が足を運んで欲しい。私の思いは膨らんで行きました。広報誌を知り合いの方にお渡しする際には、一言ピーアールの言葉を添えるようにしました。その広報誌を見て、昨年秋のロビーコンサート祭り メインロビーでパフォーマンス！に私のラフターヨガの指導者が わっはっは笑いヨガクラブとして参加され、会場が大爆笑したこととても嬉しい出来事でした。このパフォーマンスの様子は京都新聞に取り上げられ、ロビーコンサートが大盛況のうちに幕を閉じたことも感謝でした。

このように充実した1年を送ることができたこと、そして音楽が人の心を満たし、励まし、幸せにすることを心の底から実感することができたことも大きな喜びでした。これからもびわ湖ホール劇場サポーターとして素敵な音楽に出会うことを楽しみにしています。微力を振り絞り、広報活動にも努めてまいりますので今後とも宜しくお願いします。

## ピューティフル・ハーモニー（令和）とサポート

第24期 勝部 正嘉

昨年ですが、元勤務先OB会会誌の巻頭言として下記のような投稿しました。サポートになって間もないころです。

「びわ湖をもっと知ろうという目的もあり現在2回目のびわ湖一周を仲間とやっています。

近江八幡の八幡山からのびわ湖、比叡山の眺めそして近江富士と称される三上山のいろいろな姿など変化があって興味つきません。

自然だけでなく、びわ湖の周りで注目すべきは湖畔にあります芸術の殿堂びわ湖ホールです。大津湖岸なぎさ公園にびわ湖を前に緩やかなカーブの大屋根の建物は琵琶湖に浮かぶ帆船をイメージし、その姿は世界でも他にない素晴らしいホールです。

ここには舞台芸術の創造と並行して観客の創造を目的としたJリーグのサポートの劇場版と言えるびわ湖ホールサポートがあります。私も今年からそのサポートになり素晴らしいびわ湖ホールを盛り立てる何かをやろうとしています。

その一つとして、私が歌ってます合唱団（全日本男声合唱フェスティバルで審査委員長賞を頂くほどの実力？）は今夏にびわ湖ホールで定期演奏会を行います。湖畔にあるびわ湖ホールの雰囲気を味わいがてら我々の演奏会を聴きにきていただくといいですよと声をかけています。

・・・・中略

元号令和を beautiful harmony と訳すようですが令和元年を機会に合唱で美しい響きとハーモニーを追求するとともに新たなチャレンジをしていきます。 後略・・・・・・・・・・・・】

この投稿にありますようにサポートになってしばらくしてからのタイミングで演奏会がありました。演奏会にはびわ湖ホールを訪れたことのない方にも来ていただきびわ湖ホールの素晴らしさを知っていただこうと今までになく多くの方に声をかけましたが、これがサポートとしての最初の活動となりました。

次に、サポート一年間の活動と歌ったり聴いたりしたびわ湖ホールでの演奏会関連を列挙します。

3月11日 サポート応募 びわ湖ホール館長との面談

7月 6日 滋賀男声合唱団演奏会でオステ びわ湖ホール

10月27日 サポート講習会 これまでの20年、これから20年

～日々進化するびわ湖ホール～

12月22日 オペラ講座「神々の黄昏」第一回第一幕、第二幕

1月 6日 オペラ稽古見学

1月19日 オペラ講座「神々の黄昏」第二回第三幕

1月19日 京都女子大学ニューイヤーコンサート

　　オペラ座の怪人から、魔弾の射手から、 びわ湖ホール

2月 2日 ベートーベン ピアノ協奏曲 びわ湖ホール

サポートとしてまともな動きは出来てないのですが、びわ湖ホール Stage、びわ湖ホール公演スケジュールをテニス仲間、卓球仲間、よし笛仲間などあまりびわ湖ホールへ行ってない方に渡してびわ湖ホールに足を運ぶ仲間を少しでも増やすよう次年度は働きかけていく予定です。



## 充実の1年（劇場サポーター 2019年度活動報告）

24期 川端正晴

### 1.活動内容

#### (1)PR活動

ホールから毎月送っていただく広報物は、残念ながらほとんど配布できませんでした。唯一できたPRらしいことは、私が参加しているオペラ愛好者向けサークルで、びわ湖「神々の黄昏」の作品紹介・公演紹介および「友の会・サポート会員」案内の記事を会報に掲載し、会合の場で関連チラシを配布したことぐらいでしょうか。その甲斐もなく、この公演が開催目前で中止となったのは大変残念でした。

#### (2)サポーター通信「ハルモニア」

「チーム・ハルモニア」に参加させていただき、ハルモニアの編集作業をお手伝いさせていただきました。現役時代にWordで仕様書や取説などのドキュメントを作っていたのが少しは役に立ったかも知れません。

#### (3)知識の習得

サポーターによる集まり（定例会など）の他、基礎講座・特別講座などにも極力参加させていただきました。舞台芸術に関する知識が少しずつ深まってきたことを実感しています。

#### (4)ボランティア

「近江の春 2019」のボランティア応募者不足のアナウンスがあり、ボランティアに参加させていただきました。私自身として人生初めてのボランティア体験。ホール運営の舞台裏を垣間見ることができ、大変貴重な体験をさせていただきました。

### 2.感想

とても充実した1年間でした。趣味が合う方々との交流などを通して、多くのことを学ばせていただきました。サポーター活動のおかげで、私自身のライフスタイルと向上心が劇的に変化したことを実感しています。「びわ湖ホール愛」がいっそう深まった1年でした。

劇場サポーターは大変素晴らしい制度で、この制度がホール開館当初から導入されていたことに驚き、深く敬意を表します。引き続き来年度もサポーターを続けさせていただきたいと思っています。

ありがとうございました。



紅葉ハイキングに参加(2019/11)  
＜目を見張る鮮やかな紅葉！＞

### 3.反省点と今後の抱負

サポーターの特典を享受する一方で、PR活動が不十分だったと反省しています。来年度はもう少しお役に立ちたいと思っていますので、ご指導をよろしくお願ひいたします。

## 劇場サポーター ふたたび

第24期 澤 薫

11期、14期のサポーターとして活動させていただきましたが、都合により継続を一旦断念。今年度より再びサポーターのお仲間に入らせていただきました。この一年、ホールやサポーターの皆さまから以前にも増してたくさんの刺激をいただくとともに、心温まるとても楽しい時間を過ごさせていただきました。改めて感謝申し上げます。

最初のオリエンテーションでいただいたのが、劇場サポーターの「年間スケジュール」。サポーターを対象とした基礎講座や特別講座、ホール主催の公演関連講座など舞台芸術に関する知識や関心を深める機会がずらり。更には定例会やサポーターズ・サロン、パーティやハイキングの予定も記載されており、ホールの公演情報と見くらべながら、ワクワクしたのを今も覚えています。

他の予定と重なり、残念ながらすべての講座には参加できませんでしたが、いずれの講座も大変内容の濃い興味深いもので、びわ湖ホールへの愛♥が一段と深まりました。公演関連講座では、様々な舞台芸術に関する幅広い知識や情報を得るとともに、鑑賞予定の公演の見どころにとどまらず、非常にコアな知識を学ぶ機会にも恵まれ、大いなる刺激をいただきました。定例会やサポーターズ・サロンでは、皆さまの博識ぶりと企画力・運営力の凄さ、そしてびわ湖ホールや芸術への深い愛・思いに感服した次第です。

初めて携わった「わいわい！コンサート」では、出演者の方も観客の方も、誰もが笑顔で心底音楽を楽しんでおられたご様子で、まさに心躍るひとときでした。

実行委員の皆さまには本当にお世話になりました。

いろいろな場所で機会を見つけては“びわ湖ホール”を話題にするようにしています。すると、意外にも公演を見に行ったという方、公演情報を教えてほしいという方に出会うことも。旅先でびわ湖ホールの存在を知る方に出会えると胸が熱くなりさえします。関東在住の知り合いなども、びわ湖ホール主催の東京公演に足を運んでくれており、とにもかくにも“びわ湖ホール”的な名前を今後もPRしていきたいと思っています。

サポーターに復帰させていただき、以前から存じ上げている方はもちろん、新しく知り合った方とも公演などでお会いし、公演の感想を言い合ったり、いろいろな公演情報を交換したりと交流の場が増えて嬉しい限りです。メーリングリストも整備され、ホールやサポーターの皆さまとの距離がぐっと近くなったように思います。

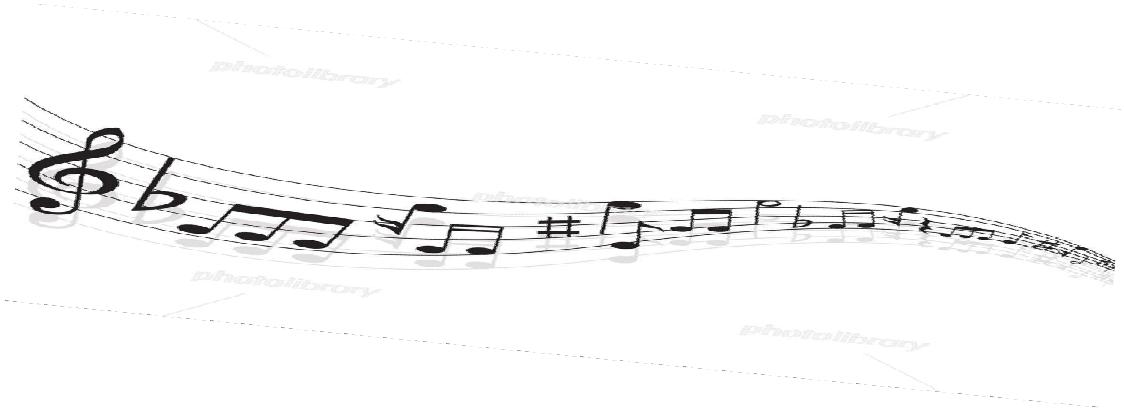
次年度の公演スケジュールも既に発表され、今から心待ちにしている公演もたくさん。魅力いっぱいの“びわ湖ホール”。引き続き応援してまいります！

# びわ湖ホール劇場サポータの活動報告

24期 船越 千明

今まで私は、私自身、ワーグナーなどは、敷居が高く、オペラと言えば、魔笛とかフィガロの結婚など、見慣れたもの、聴き慣れたものばかりを好んで見ていましたが、オペラ講座で作品ごとの歴史や見どころをご教授頂き、また、今まで出来上がったもの（本番）を見ていましたが、今回は、オペラの稽古などを見させて頂く機会も頂き、制作の過程などにも触れる事が出来ました。この知識を周囲の友人にもシェアしてオペラの楽しさ、奥深さを共有しています。あまりオペラには興味が無かった友人も、少しずつ興味を持ってくれて、将来はオペラファンになってくれるのではないかと期待しています。

お送り頂いたチラシは、コーラス仲間の方々などにお渡ししています。またその他にロビコンなどで隣り合わせた方々と、びわ湖ホールで開催される音楽会などを話題にお話しする事があります。一人でもオペラやコンサートなどに興味を持つていただければよいと思います。



## 本当のコミュニケーション

第24期 堀口まりこ

「びわ湖ホール劇場サポーターってご存知？」

ある大学の研究協力に参加していた私は、同じく研究に参加していた女性から話しかけられた。いろんな活動内容を話してくださる中で、「音楽に造詣の深い素敵な方々と知り合えますよ」という言葉に私は心惹かれた。仕事と家事だけの生活ではなく、生活に文化的なものを取り入れたいと思い、びわ湖ホール劇場サポーターに申し込むことにした。

「近江の春びわ湖クラシック音楽祭 2019」では、人生初のボランティアに参加した。びわ湖ホール職員である土井さんの説明をメモを取りながら、高校生の時のような緊張感をもって聞いたのが新鮮だった。子供たちにシートを手渡すのが私の仕事だった。開演前のちょっとしたお手伝いをただけだが、この日の開演を待ちわびてやって来た子供たちの嬉しい気持ちや笑顔のおすそ分けをもらい、私も幸せな気持ちになった。

同時期に、「友の会サポート会員」にもなった。招待していただいたオペラ「こうもり」は、初心者の私にもわかりやすく、華やかな舞台芸術の雰囲気を楽しむことができた。「サポートーズ・サロン」に参加し、声楽アンサンブルの皆さんを身近に感じていたこともあり、応援団のような気持ちで大きな拍手を送っていた。ちなみに「琵琶湖周航の歌」を歌ったのは、東京の「滋賀県人会」の宴席で合唱して以来だった。親元を離れ、1人上京した若い日々を思い出して懐かしい思いで胸がいっぱいになった。

ホールで鑑賞する音楽は、一瞬一瞬で消えていく芸術である。だからこそ感動するし、同じ時間に同じ場にいる者だけが感じることのできる一体感がある。びわ湖ホール劇場サポーターとなり、本物の持つ輝きを自分の身体で実感することは、何ものにも代え難い喜びがある。そしてこれは人間関係にも言えることである。昨今流行りのSNSではなく、お互いに顔を合わせ、言葉を交わすことができるサポーターの方々との交流はまさに本当の意味でのコミュニケーションと言える。皆さん音楽の知識が豊富で、穏やかで、あんな風になりたいと思う方が多い。音楽だけでなく、これまで私が知らなかった世界の扉を開いてくださる。びわ湖ホール劇場サポーターにならなければ、絶対に知り合うことのなかつたであろう方々と人生のひと時を共有させていただけることに感謝したい。今後も公演や講義でご一緒できることを楽しみにしている。

来年は、もっと多くの本物の作品を鑑賞したい。そのためには、作品について学べる講義に進んで参加しようと思う。そして多くの人にその良さを広める活動につなげたいと考えている。

# 2019年度「びわ湖ホール劇場サポーター」研修の概要

## ◎ 劇場サポーター舞台芸術基礎講座（全サポーター対象）

### ○ 第1回 基礎講座

日 時 令和元年6月23日(日) 10:30~12:00

場 所 びわ湖ホール 研修室

#### ■ 講 義

標 題：びわ湖ホール20年の歩み

講 師：館 脇 昭（びわ湖ホール事業部 チーフプロデューサー）

内 容：事業部チーフプロデューサーという立場からホール運営の課題や苦労話、裏話について。

### ○ 第2回 基礎講座

日 時：令和元年10月27日(日) 10:30~12:00

場 所：びわ湖ホール 研修室

#### ■ 講 義

標 題：これまでの20年、これから20年～日々進化するびわ湖ホール

講 師：押 谷 征 仁（びわ湖ホール舞台技術部 部長代理）

内 容：舞台技術全般という基礎のお話から、改修工事、3月の成果発表公演

（ミュージカル「長靴をはいた猫」）を開催する舞台技術研修について。

## ◎ 劇場サポーター舞台芸術特別講座（全サポーター対象）

### ○ 第1回 特別講座

日 時 令和元年8月25日(日) 14:00~15:30

場 所 びわ湖ホール リハーサル室

#### ■ 講 義

標 題：オーケストラ事務局から見るオーケストラ

講 師：山 口 明 洋（大阪フィルハーモニー交響楽団 楽団事業部 演奏事業部課長）

内 容：山口氏とびわ湖ホールの関わり、オーケストラの裏方業務の話など、

山口氏が思う「劇場にとって大切な物」について。

### ○ 第2回 特別講座

日 時：令和元年11月23日(土・祝) 10:00~11:30

場 所：びわ湖ホール 研修室

#### ■ 講 義

標 題：日本の「カルチャー・シーン」から見たびわ湖ホールの魅力と価値

講 師：平 末 広（元産経新聞社文化部クラシック音楽担当および

音楽情報誌「モーストリー・クラシック」副編集長）

内 容：日本のオペラ劇場史を客観的に見ながら、びわ湖ホールの独自性を  
様々な観点から解説し、その魅力について深く語る。

## ◎ 劇場サポーターオペラ稽古見学会（全サポーター対象）

### ○『こうもり』稽古見学会

日 時 令和2年1月6日(月) 14:00~

場 所 びわ湖ホール 中ホール

## ◎ 公演関連講座（直近3期のサポーター対象）

びわ湖ホールで開催する主催公演をより一層お楽しみいただくとともに、周囲の方々へ積極的に公演のPRをしていただけるよう公演関連講座研修を実施。

- オペラ・バレエ・古典芸能～初心者向けトライアングル講座「オペラ編」 平成31年4月20日(土)
- オペラ・バレエ・古典芸能～初心者向けトライアングル講座「バレエ編」 令和元年5月19日(日)
- オペラ・バレエ・古典芸能～初心者向けトライアングル講座「古典芸能編」 令和元年6月2日(日)
- オペラ講座『神々の黄昏』(全2回) 令和元年12月22日(日)、令和2年1月19日(日)
- ワーグナー・ゼミナール(上級編・全3回) 令和2年2月1日(土)、2月8日(土)、2月23日(日)

## ◎ 劇場サポーターーメーリングリスト

びわ湖ホールからの事務連絡や自主交流会の案内、公演や講座の感想などの発信に用いています。



(8月25日 第1回 特別講座の様子)



4月27日  
「近江の春 びわ湖クラシック音楽祭」ボランティア

# — 2019年度「びわ湖ホール劇場サポーター」自主活動の概要 —

## 1. 定例会の開催

- (1) 4月 7日 (日) オリエンテーション  
(自主交流会紹介/年間計画紹介 ほか)
- (2) 5月 12日 (日) 第1回定例会
- (3) 6月 23日 (日) 第2回定例会
- (4) 8月 4日 (日) 第3回定例会
- (5) 10月 27日 (日) 第4回定例会
- (6) 12月 15日 (日) 第5回定例会
- (7) 2月 9日 (日) 第6回定例会

## 2. サポーター通信「Harmonia (ハルモニア)」の発行

- (1) 4月 第42号 (2019年春号)  
(近江の春 びわ湖クラシック音楽祭の楽しみ方、ジークフリート鑑賞記、私のお墓探訪記 ほか)
- (2) 10月 第43号 (2019年秋号)  
(声楽アンサンブル新メンバー、24期サポーター自己紹介 ほか)

※ サポーター通信「Harmonia (ハルモニア)」…

サポーター同士のコミュニケーションを図り、びわ湖ホールをはじめとする、あらゆる舞台芸術の面白さを外部に向けて発信することを目的とした「サポーター通信」。1998年10月から1999年6月までに創刊準備号として3号を、2000年には名称を“Harmonia”(ハルモニア)として創刊号～第43号を発行しています。

### 3. レクリエーションの実施

- (1) 4月 21日 (日) この指と～まれ「びわ湖ホール声楽アンサンブル東近江公演」鑑賞
- (2) 5月 18日 (土) 新緑ハイキング—ビルウォッキング&京都御苑
- (3) 6月 23日 (日) サマーパーティー
- (4) 11月 30日 (土) 紅葉狩りハイキング
- (5) 12月 15日 (土) クリスマスパーティー
- (6) 1月 24日 (金) 博物館めぐり（京都国立博物館）
- (7) 1月 30日 (木) この指と～まれ（オペラの楽しみ方—入門編）

### 4. そ の 他

- 近江の春 びわ湖クラシック音楽祭へのボランティア参加。
- 劇場サポーター交流会主催「わいわい！コンサート」（7月21日（日））開催

### 5. サポーターズ・サロンの実施

- (1) 6月 2日 (日) 第1回 テーマ「私の〈近江の春 びわ湖クラシック音楽祭 2019〉は〇〇でした！」
- (2) 8月 25日 (日) 第2回 テーマ「山中館長とおしゃべりしよう！」
- (3) 11月 23日(土・祝) 第3回 テーマ「びわ湖ホール声楽アンサンブル・メンバーとおしゃべりしよう！」



（11月23日 第3回サポーターズ・サロンの様子）



（7月21日 わいわい！コンサートの様子）



（サポーター通信「ハルモニア」第43号）

# 2019年度「びわ湖ホール劇場サポーター」運営要綱

## 1. 趣 旨

地域や職場、友人など、人のネットワークを活かして、びわ湖ホールとそこで上演される舞台芸術を生活に身近なものと感じる愛好者の輪を広げることを目的に、「びわ湖ホール劇場サポーター」（以下「劇場サポーター」という）を設置します。

## 2. 劇場サポーターの役割

- 舞台芸術についての情報およびびわ湖ホールで開催する公演の情報を、口コミやチラシ配布などにより地域や職場の方、ご友人に広く伝え、観客創造につなげていただきます。
- 舞台芸術に関する講座や研修を受講し、知識を広め関心を高めていただきます。
- 勉強会や交流会などの自主活動を通じて、ネットワークづくりを進めていただきます。
- 公演運営のお手伝いをお願いすることができます。

## 3. 劇場サポーターの定員と登録

公募により選ばれた方を劇場サポーターとして登録し、定員は概ね100人、登録期間は1年間とします。ただし、1年ごとに継続の意思確認を行いますので、希望される場合は更新することができます。継続の意思確認は2月～3月頃に行います。

## 4. 2019年度活動

- (1) 舞台芸術情報やびわ湖ホールにおける公演情報の地域や職場、友人等への広報
  - ・口コミやチラシ配布などによるPR活動
- (2) 舞台芸術に関する研修の受講
  - ・基礎講座
  - ・特別講座
  - ・公演関連講座
- (3) 自主活動
  - ・交流会などの開催
  - ・劇場サポーター通信(Harmonia)の発行

# 2019年度「びわ湖ホール劇場サポーター」の内訳

## 【期 別】

1期	2名
3期	4名
4期	1名
5期	1名
6期	5名
7期	2名
8期	3名
9期	4名
10期	3名
11期	2名
12期	4名
13期	5名
14期	3名
15期	4名
16期	3名
17期	5名
18期	7名
19期	3名
20期	3名
21期	7名
22期	14名
23期	19名
24期	10名

## 【性 別】

男 性	49名
女 性	65名

## 【居住地】

●滋賀県	
大津市	55名
草津市	4名
守山市	3名
東近江市	4名
彦根市	2名
米原市	1名
長浜市	2名
高島市	1名
湖南市	1名
近江八幡市	1名
●京都府	15名
●大阪府	13名
●兵庫県	3名
●奈良県	3名
●香川県	1名
●愛知県	3名
●岐阜県	2名

計 114名



**発行 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール**

発行年月 令和2年3月

〒520-0806 大津市打出浜15-1

TEL 077-523-7133 FAX 077-523-7147

URL <https://www.biwako-hall.or.jp/>